



# まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 179

令和4年(2022)  
2月2日

- 令和3年度一般会計補正予算を可決
- 議員定数条例の一部を改正する条例を可決
- 「コロナ禍における米価下落対策を求める意見書」  
および「中華人民共和国による人権侵害問題に  
対する意見書」を可決

主 な 内 容	12月定例会のあらまし	2
	常任委員会の審査報告(11/25提案分)	2
	各会派討論の内容(11/25提案分)	3
	意見書	5
	即日議決分の議案のあらまし	6
	常任委員会の審査報告(即日議決分)	6
	各会派討論の内容(即日議決分)	7
	定数・報酬の検討結果	8
	定数に係る各会派討論の内容	8
	議案の採決結果	10
一般質問	12	
政策提言、YouTubeチャンネル	20	
編集後記	20	

議会だよりはこのコードから  
ご覧いただけます。



雪化粧の新年 ~希望の春に向かって~

みかけ  
彌伽宜神社(大森神社)

# 12月定例会のあらまし

- 議員定数を1人削減するため、「舞鶴市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について」を可決
- 政務活動費を年度途中で返還するため、「舞鶴市議会における会派に対する政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について」を可決
- 私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金、医療扶助費、次期最終処分場整備事業費など、総額8億2157万円の「令和3年度一般会計補正予算(第11号)」を可決
- 新型コロナウイルス感染症対策として、中小企業雇用調整助成金、飲食店応援クーポン発行事業費など、総額3000万円の「令和3年度一般会計補正予算(第7号)」を承認

令和3年12月定例会は令和3年11月25日から12月23日まで29日間開催し、市長から提案された令和3年度の一般会計補正予算、条例制定など25議案を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決・同意されました。また、議会提案の条例の一部改正2件、「コロナ禍における米価下落対策を求める意見書」および「中華人民共和国による人権侵害問題に対する意見書」の2件を可決しました。

## 予算決算委員会の主な審査内容

### 令和3年度一般会計補正予算(第11号)

新型コロナウイルス感染症対策指定管理施設持続化応援奨励金

Q 厳しい状況の施設を把握しているのか

A 現時点では、5施設に対して支援が必要であると見込んでおり、12月までの実績等を確認し、赤字となる見込みの施設に対して1月に奨励金を支給したい。

私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金

Q 認定こども園になると、幼稚園教諭と保育士の両方の免許が必要なのか

A 原則的には両方が必要。経過措置として令和6年度末までは、いずれかの免許があればよい。

生活保護扶助費(医療扶助費)

Q 医療扶助費の増加の要因は

A 入院や外来通院件数の増加、今年度の上半期には1件当たり約

500万円の腎臓および心臓疾患の手術にかかる費用が発生したこと等が要因と考えられる。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費

Q 3回目接種の詳細は

A 現在、医療機関等と調整中だが、令和4年3月頃から順次、実施予定。集団接種会場は、東体育館の1カ所。ただし、加佐地域の高齢者は、東体育館まで移動時間がかかるため、廃校となった学校体育館を利用し、スポット的に集団接種を行う予定である。(※対象者への速やかな接種を行うため、高齢者等への集団接種を2月上旬からとし、メインの接種会場を舞鶴文化公園体育館に変更しました。)

次期最終処分場整備事業費

Q 漏水検知システムのセンサーの配置を再検討した要因は

A 掘削法面の湧水による保護マットの損傷を防ぐため、底部を重点的に設置していたセンサーを、法面を含め

て平均的に配置することによるもの。

東地区中心市街地複合施設安全対策事業費

Q 応急処置ではなく抜本対策が必要ではないか

A 施設の在り方を検討する間における安全対策として施工するもの。

令和3年度国民健康保険事業会計補正予算(第2号)

Q 昨年に比べ、医療費の増額傾向の要因は

A 医療費は昨年上半期より約2億円増加、今年度の4・5月は、前年同月に比べ伸びが大きいなど、コロナ禍での受診控えが一定収まりつつあることや、ひと月当たりの医療費が2000万円超の場合もあるなど医療の高度化も要因と考える。

令和3年度駐車事業会計補正予算(第2号)

市営駐車場キャッシュレス決済導入促進事業費

Q 東西駅前駐車場キャッシュレス決済の利用状況は

A 10月2・7%、11月3・7%、台数が増加した。

## 常任委員会の主な審査内容

### 福祉健康委員会の主な審査内容

### 国民健康保険条例の一部改正

産科医療保障制度の掛金引き下げに伴い、被用者保険の支給額を定めている健康保険法施行令の改正が行われたことに準じ、国民健康保険の出産育児一時金の支給額を見直すもの。

Q 本市の国民健康保険での出産育児一時金の支給件数は

A 令和2年度は52件であり、今年度、11月現在では、31件である。

### 市民文教委員会の主な審査内容

### 指定管理者の指定(大波上集会所)

大波上集会所の管理運営を、非公募で大波上区へ委託するもの。

Q 集会所の大規模な修理は、市で行うのか

A その都度協議することとなっているが、基本的には市で行う。

本会議初日に付託された議案は、即日議決分を除き、福祉健康委員会1件、市民文教委員会2件、産業建設委員会5件、総務消防委員会5件、予算決算委員会4件であり、それぞれの委員会でも審査しました。

令和3年12月23日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

## 常任委員会の審査報告 討 論

### 工事請負契約の変更 (次期最終処分場整備工事)

漏水検知システムに係る通信ケーブルの延長などを変更することにより、工事費および工期を変更するもの。

**Q** 「ごみの搬入量に応じてキャッピング工を変更」とは

**A** 既設処分場へのごみの搬入による最終形状を精査した結果、雨水の流入を抑えていたキャッピングの形状を変更するもの。

### 産業建設委員会の 主な審査内容

#### 農業公園条例の 一部改正

滞在型市民農園の一部の用途をコテージに変更し、利用料金の基準額を定めるなど改正を行うもの。

**Q** 用途変更の理由は

**A** コテージの利用ニーズの高まりにより、経営戦略としてコテージの棟数を増やすため用途変更を行うもの。

#### 東地区中心市街地複合 施設条例の一部改正

指定管理から市の直

営管理施設へ移行するため改正を行うもの。

**Q** 市が直接運営することができるのか

**A** 市の関係施設とも連携しながらさまざまな利用方法の提案に努めたい。

### 総務消防委員会の 主な審査内容

#### 舞鶴市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定

職員が、必要以上の心理的負担を受けずに積極果敢に職務遂行できるように、地方自治法に基づき、市に対する損害を賠償する責任の一部を免れさせることに必要な事項を定めるもの。

**Q** 善意でかつ重大な過失がないときに、一部を免責すること

であるが、それは、誰が判断するのか

**A** 損害賠償の責任を負う場合として想定されるのは、住民訴訟に基づくものであり、その中で、裁判所が、その判断を行うこととなるものと考えている。

討 論

### 商店街への誘導策 考慮したまちづくりを



日本共産党議員団  
伊田悦子

14 議案に賛成し、  
3 議案に反対する。  
反対の議案は、いずれも条例等に関わるもの。

第90号議案は、市長等の市に対する損害賠償責任額の一部を免除できるようにするものである。損害賠償責任限度額を定めることは、住民の権利である

住民訴訟を提起する機運をそぐことになりかねないことから反対。  
第91号議案は、



歴史的価値の高い赤れんが倉庫群

赤れんが3・4・5号棟のPark PFI導入によって、民間企業に任せられるものである。対象施設は日本でも有数の歴史的価値の高い建物。このような施設は、市の直営とすべきであり、反対。

第97号議案は、「赤れんがパーク官民連携型賑わい拠点創出事業」に係る公募対象施設設置等の予定者が決定したことで提案されたもの。選考に至るまでの経緯が明らかでなく、赤れんがパーク周辺だけがにぎわうのは問題。商店街との関連付けを広く市民と考えるべきであり、反対。

討 論

### 「稼ぐ」ふるさと納税 制度に期待する



市民クラブ舞鶴議員団  
鳴田秋津

全議案に賛成する。

第87号議案の「ふるさと応援推進事業費」は、さらなるふるさと納税の利用増加と市内事業者の販路拡大を図る事業である。寄附額、件数ともに前年度同期を上回っている

が、本市の令和2年度の実績は、元年度に続き府北部5市の中で最下位。ふるさと納税の利点は、①地域の産物を返礼品として活用し、地元事業者や生産者の経済に貢献できること②税収が落ち込



築28年が経過し、老朽化が進む旧マイコム

んでいる中で、広範囲から財政収入を確保できることの2点である。選ばれる返礼品の選定、発信力の強化など、「稼ぐ」ふるさと納税に期待する。

#### 旧マイコムの在り方は

第94号議案は、旧マイコムを指定管理施設から市直営施設とする条例改正。平成25年に本市がマイコムを購入し、指定管理運営を委託してきたものの、駐車場、貸館とも利用実績が低調である。今後、老朽化した建物に多額の費用をかけて維持するのか、市民が納得できる抜本的な改善策や施設の必要性を早期に示されたい。

討論

令和3年12月23日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論

速やかに3回目のワクチン接種実施を



新政クラブ議員団  
上野 修身

全議案に賛成する。

令和3年度一般会計補正予算(第7号)の専決処分は、新型コロナウイルス感染症の減少に鑑み、経営の悪化した市内中小企業・宿泊施設・飲食店を支援し、市民の消費喚起を促すもので、一日も早い経済回復を願う。

一般会計補

正予算(第11号)の「ワクチン接種体制確保事業費」「ワクチン接種事業費」は、2回目の接種を終えた人に3回目の接種を行うもので、こ



駐車場の料金支払いをカードで

れまでと同様、安全かつ円滑な接種を願う。「次期最終処分場整備事業費」は、現場の状況から漏水検知センサーの移動、通信ケーブルの配線の変更を行うもので、速やかに今年度中の完成を願う。駐車場事業会計補正予算では、南田辺と七条海岸駐車場の料金収受システムをキャッシュレス決済に改修を行うもので、便利で利用しやすくなる。

第97号議案からの4議案は指定管理者を指定することに議会の議決を求めるもので、賛成する。

討論

今回の補正予算は時宜に即した予算編成



公明党議員団  
杉島 久敏

全議案に賛成する。

令和3年度一般会計補正予算のうち、第7号は、雇用と経営の安定化、市民の消費喚起と地域経済活性化を図るもので、早急な事業展開を要するものと認め、承認する。第11号は、コロナ禍の影響による経済活動の再建として、今後も安全・安心な市民サービス提供体制が維持されるよう施設指定管理者に奨励金交付支援を行うもので、適切と理解する。また、3回目のワクチン接種に向けた接種会場や医療

スタッフの確保、物品調達などの体制構築に必要なものである。そのほか、次期最終処分場整備事業では、事業開始以来、4度目の変更契約となるため、安全性の高い施設としていただくようお願いする。東地区中心市街地複合施設における外壁飛散防止ネット設置は、耐用年数を考慮し、抜本的な対策の検討を実施していただきたい。

今回の補正予算は、時宜に即した予算編成と評価し、賛成する。

令和3年12月29日  
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会  
新型コロナウイルスワクチン接種推進課

**新型コロナワクチン3回目接種について**

追加接種(3回目接種)の全体概要

1 対象者  
舞鶴市に住民登録があり、初回接種(2回目)を終了した日から原則8か月以上経過した18歳以上の方

対象者	集団接種	個別接種	施設接種	施設接種 大規模接種会場	合計
医療従事者		3,600人			3,600人
高齢者	20,800人	往診・入院 500人	高齢者施設(仮称第1号) 2,100人		23,400人
64歳以下	28,500人		障害者施設(仮称第1号) 600人	6,900人	36,000人
合計	49,300人	4,100人	2,700人	6,900人	63,000人

2 使用ワクチン及び接種量  
①ファイザー社ワクチン 0.3mlを筋肉内注射  
②武田/モデルナ社ワクチン 0.25mlを筋肉内注射

※今後、ワクチンは、ファイザーと武田/モデルナが、4:0の比率で国から供給される予定

舞鶴市の3回目ワクチン接種実施方針

討論

新型コロナ感染症対策関連事業を評価



創政クラブ議員団  
尾関 善之

全議案に賛成する。

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すため、ワクチンの2回目接種を終えた方への3回目接種に向け、必要な人員や会場の確保、対象者への通知など、安全かつ円滑な追加接種体制の確保に必要な不可欠な取り組みを評価する。

新型コロナウイルス感染症対策に積極的に取り組んでいる宿泊事業者に対する衛生用品などの支援、また、



円滑に進んだワクチン接種

京都府新型コロナウイルス感染症対策認証制度の登録飲食店を応援するプレミアム付クーポンの発行による地域経済活性化の取り組みを評価する。ほ場整備については、本市も高齢化や担い手不足などで農業人口の減少が進む中、営農の省力化や効率化、農業経営基盤の確立や認定農業者への農地集積など、課題解決に向けた取り組みを評価する。

## 意見書

12月定例会で提案し、可決した意見書は次のとおりです。

## ▽コロナ禍における米価下落対策を求める意見書

コロナ禍での米の需要の落ち込みは、地域農業に大きな影を落としている。昨今の燃料費等の大幅な価格上昇の例を見ても、食料供給を諸外国からの輸入に依存しなければならぬ我が国の現状は、食料の安全保障の面からも危機的な状況と言わざるを得ない。

米は我が国の農業の中心であり、中山間地域にとって米作は農地維持に欠かせない手段である。また水田の持つ水源の涵養など多面的機能が保持できなくなることは、農村地域の産業振興にとどまらず、コミュニティや環境保全など、複合的な

問題に発展しかねないことから、我が国農業の重要性を再認識するとともに、従来の政策的枠組みにとらわれない国家国民のための食料システムが構築されるよう、早急に下記事項の実施を求める。

- 1 次年度産米へのさらなる影響を抑制するため、適正な在庫量に向けた取組を実施し、余剰とされる在庫分の有効活用と併せて、販売先の確保や販路開拓の取組を支援すること。
- 2 「収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)」や「収入保険」の加入促進のため、制度の拡充、要件の緩和を検討するとともに、水田活用の直接支払交付金をはじめとする作付転換を推し進めるための予算を十分かつ継続的に確保するなど、令和4年度に向けて生産者の所得安定対策を強化すること。
- 3 コロナ禍を契機として広がった家庭にお

ける食への関心の高まりを農業への関心とつないでいくよう、学校給食における地産農水産物の提供等、特に主食である米の消費拡大のための国民的運動を効果的に推進すること。

4 中山間地域の農業を持続可能なものとするため、農林水産省「みどりの食料システム戦略」の理念を、早期に社会に実装させる体制整備に努めること。

## ▽中華人民共和国による人権侵害問題に対する意見書

新疆ウイグル自治区において、大規模な恣意的拘留、深刻な人権侵害が報告されていることについて、国際社会は深く憂慮している。国連の人種差別撤廃委員会は、2018年9月、中国に関する総括所見を発表し、多数のウイグル人やムスリム系住民が法的手続きなしに長期にわたって強

制収容されて「再教育」が行われていることなどについて、「切実な懸念」を表明している。

令和2年(2020年)10月には国連総会第3委員会ドイツなど39か国が、香港と新疆ウイグル自治区での人権侵害に重大な懸念を表明する共同声明を発表し、ウイグルとチベットでの人権尊重と調査、香港の事態の即時是正を求めている。

また、アメリカ、イギリス、オーストラリアなど、国や政党を越えて大きな人権問題として認識され、中国政府に対して強く非難し、調査を求め、さらにアメリカは人権問題を火種に北京五輪に対する外交ボイコットを行うと正式発表し、各国もそれに同調を始めている。このように中国政府における人権問題については、一国の問題ではなく、国際社会全体として毅然と立ち向

かうべきとする世界的な動きとなっている。

舞鶴市においては、戦後、シベリア抑留からの引揚者を13年間の長きにわたり、受入れてきた歴史があり、引揚記念館に所蔵するシベリア抑留と引揚関連資料は、平成27年(2015年)にユネスコ「世界記憶遺産」として登録され、平和の尊厳と人権教育の重要性を世界に向けて発信し続けている。そのことから、ウイグルをはじめ

めとする人権侵害については、大変、憂慮すべき問題であり、見過ごすことのできないことと考えている。

よって本市議会においては、人権を尊重する国際社会と協調して、中国政府に対し、説明責任を求めるとともに速やかに日本政府として調査し、人権問題を許さない意思表示を行い、問題ある場合には、あらゆる手法を用いて厳重に抗議することを要請する。



審議の様子

令和3年  
12月定例会  
のあらまし

追加即決分の議案の概要(一般会計補正予算8号、9号、10号、12号)  
新型コロナウイルス感染症対策に係る主な新規事業

早期に事業着手する必要があるものは、その他の議案と区分して審査しました。主な事業は、以下のとおりです。

まいづる産品ブランド力向上事業費

- 土産品やふるさと納税返礼品の開発、資材等の製作、情報発信力の強化に取り組む事業者を支援

未来を拓く学びの環境整備事業費

- 「GIGAスクール構想」の実現に向けた基盤整備に取り組む中、ICT機器を効果的に活用した授業の推進や教職員の負担軽減のため、ネットワーク対応の複合機を導入

子育て世帯等臨時特別支援事業費

- 国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、18歳以下の児童を養育し、所定の要件を満たす世帯に対し、臨時特別給付金を支給

臨時特別給付金給付事業費

- 国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、住民税非課税世帯等に対し、一世帯当たり10万円を「プッシュ型」で支給

これらを含め、全てのコロナ対策関係の議案審査のため、会期中に4回にわたって予算決算委員会を別途開催し、それぞれ本会議で議決しました。審議の経過は、以下のとおりです。

11月25日 予算決算委員会 福祉健康分科会  
同 市民文教分科会  
同 産業建設分科会 } で審査のあと  
予算決算委員会 で審査 ⇒

同日の本会議で議決

12月9日 予算決算委員会 市民文教分科会で審査のあと  
予算決算委員会 で審査 ⇒

同日の本会議で議決

12月17日 予算決算委員会 市民文教分科会で審査のあと  
予算決算委員会 で審査 ⇒

同日の本会議で議決

12月23日 予算決算委員会 福祉健康分科会で審査のあと  
予算決算委員会 で審査 ⇒

同日の本会議で議決

予算決算委員会の主な  
審査内容

令和3年度一般会計  
補正予算(第8号)

産後ケア施設新型コロナウイルス感染症対策経費

Q 今回の補助対象基準と補助額は

A 令和3年度から新規に産後ケアを実施する施設や事業所に対して、1施設当たり50万円を補助するものである。

新型コロナウイルス感染症対策農業公園魅力向上事業費

Q 施設PR動画の作成目的は

A 農林水産省・消費者庁・環境省の連携事業として、「あふの環2030プロジェクトサステイナアワード」では、食や農林水産業に関わる持続可能なサービシス・生産者・事業者の取り組みに関する動画作品を募集しており、優秀作品は国内外に広く発信されることから、農業公園をPRするため、の応募作品を制作するもの。

新型コロナウイルス感染症対策まいづる冬グルメキャンペーン事業費補助金

Q 今年の利用対象は

A 舞鶴のさかな提供店等で「舞鶴のさかな」を含む飲食、魚介の購入および一部を対象の市内宿泊施設での利用も可能とした。

まいづる産品ブランド力向上事業費

Q 募集方法は

A 舞鶴観光協会、舞鶴商工会議所、市内金融機関等と連携し、公募していく。

未来を拓く学びの環境整備事業費

Q ネットワーク対応複合機の価格は。また、トナーの代金や修理代は、どこに計上されているのか。

A 複合機の価格は、1台当たり約80万円。トナーの代金や修理代は、別途締結する保守契約の中に含まれる予定である。



令和3年度一般会計  
補正予算(第10号)

子育て世帯等臨時特別支援事業費

Q 給付金の対象児童の基準日は

A 高校生等は、令和3年9月30日を基準日として支給を判定。そのほか、令和4年3月31日までに生まれた新生児と令和3年9月分の児童手当の支給を受けている中学生が本給付金の対象となる。

令和3年度一般会計  
補正予算(第12号)

臨時特別給付金給付事業費

Q 今回の給付金における申請方法と、周知の方法は

A 非課税世帯には、対象世帯に市から確認書をプッシュ型で送付し、家計急変世帯等は、対象世帯からの申請が必要となる。対象となる世帯に漏れなく給付できるように、市のホームページやメール配信サービス、広報誌や自治会回覧での広報を行うほか、市の生活支援センターや社会福祉協議会などでも案内する予定である。

令和3年11月25日、12月9日、17日、23日の本会議において、即日議決分として付託された議案に対して討論をしました。

**討論** (11/25、12/9、17、23追加議案)

**討論**  
市民生活と経済の回復を切に期待する

創政クラブ議員団

第104号議案 5万円  
の先行支給が、コロナ禍で厳しい状況の子育て世帯の方に、できるだけ早く支給されることを望む。地元経済に貢献し

全議案に賛成する。  
第86号議案 新型コロナウィルス感染防止対策とコロナ禍からの経済の回復を効果的に実施するためには、市民との協働が重要である。市民の積極的な取り組みが得られるよう啓発をお願いし、賛成する。

第105号議案 現金10万円の一括支給が、迅速かつ、確かな支援となるものであり、評価する。①受給対象者への細やかな説明・周知 ②本市の経済活性化も、引き続きさらなる施策を検討の2点を申し添え、賛成する。

第106号議案 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、本給付金により困窮世帯の方が日常の生活を取り戻せることを期待し、賛成する。



手続に悩んだり困ったら相談を

**討論**  
残りの5万円も現金給付を求める

市民クラブ舞鶴議員団

第104号議案は18歳以下の子ども1人に10万円相当を給付する国の経済対策で、先行して5万円の現金給付を行うための補正予算。国は、残りの5万円をクーポン給付を基本とするよう自治体に求めているが、印刷などに要する経費や市職員の事務負担も多大になる。残り5万円の給付方法は、国の給付条件の中でも現実的で市民の希望に寄り添った正しい判断を市長に求めた。

全議案に賛成する。

第105号議案は、現金10万円の一括給付を行うための補正予算。先行の5万円給付の補正予算を可決したところだが、国が現金10万円一括給付容認の判断を行った。わが党派では、クーポンにすることによる経費や市職員の負担増を指摘、残りの5万円も現金給付を主張してきた。また、子育て世代から現金での給付を望む多数の声を聞いた。よって、現金での一括給付を評価する。

現金一括10万円給付を評価

第105号議案は、現金10万円の一括給付を行うための補正予算。先行の5万円給付の補正予算を可決したところだが、国が現金10万円一括給付容認の判断を行った。わが党派では、クーポンにすることによる経費や市職員の負担増を指摘、残りの5万円も現金給付を主張してきた。また、子育て世代から現金での給付を望む多数の声を聞いた。よって、現金での一括給付を評価する。



未来を拓く子どもたちを力強く支援

**討論**  
10万円一括給付への対応スピードを評価

新政クラブ議員団

第105号議案、令和3年度一般会計補正予算(第10号)では、子育て世帯

全議案に賛成する。

第86号議案、令和3年度一般会計補正予算(第8号)では国・府の補助金を合計し、歳入・歳出それぞれ8345万円を追加補正するもの。GOTOトラベル再開を見据え、土産品等の製造・販売事業者を支援する「まいづる産品ブランド力向上事業」に600万円など、本市の現況に見合った適切な補正である。

第106号議案、令和3年度一般会計補正予算(第12号)では、さらに住民税均等割が非課税の世帯や家計が急変した世帯にも申請不要の現金10万円給付を実施するものである。受付開始時期など国の方針が決定次第、速やかな執行を願う。

等臨時特別支援事業費補助金の現金一括給付を認める方針が政府より打ち出されたことを受け、本市で10万円の一括給付を行う補正であり賛成するとともに、市民の思いをくみ迅速な対応を評価する。



令和3年11月25日、12月9日、17日、23日の本会議において、即日議決分として付託された議案に対して討論をしました。 **討論** (11/25、12/9、17、23追加議案)

議員定数条例の一部改正について、令和3年11月25日の本会議において討論をしました。 **議員定数および議員報酬の検討結果について**



認証飲食店応援プレミアムクーポン

**全議案に賛成する。**  
 いずれの議案も新型コロナウイルス感染症対策の補正予算であり、賛成する。  
 労働費や商工費の補正は、相次ぐ自粛営業で飲食店など地域の中小企業や小規模事業者が、かつてない困難な経営環境に置かれていることから、雇用と経営の安定化、地域経済の活性化を図るための

**討論**

必要とする全ての人へ届く支援を

日本共産党議員団

重要な支援であると考えられる。  
 二度にわたって補正提案があった、「子育て世帯等臨時特別支援事業」は、18歳以下の子どもがいる世帯のうち、所得要件を満たすものに、現金10万円を一括給付するもの。「臨時特別給付金給付事業」は、住民税非課税世帯等に1世帯当たり10万円を現金で給付するものであり、賛成するが、コロナ禍で必要とする全ての人に支援が届かないという問題がある。国が一律10万円の特別定額給付事業を行ったように、全ての人に届く支援を求め、賛成する。

**議員定数および議員報酬の検討結果**

**結論** 議員定数は25人、議員報酬は現行の額が適当



市民の皆さまとの意見交換会 (令和3年6月)

舞鶴市議会では、令和4年11月に予定されている一般選挙を見据え、令和2年12月から、適正な議員定数・議員報酬について議論してきました。

議論の過程では、有識者の意見のほか、類似団体との比較、舞鶴市の情勢や将来展望、議員の活動量調査、市民の皆さまとの意見交換会、舞鶴市特別職報酬等審議会の答申などを踏まえて、約1年間をかけて慎重に検討を重ね、議員定数は、現行から1人減の25人、議員報酬は、現行額（議長：57万円、副議長：48万円、議員：44万円【いずれも月額】）が適当との結論を出しました。

議論の経過や結果の詳細は、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

なお、議員定数については、令和3年12月定例会に議員定数を25人とする条例改正案を提出し、賛成多数で可決しましたので、次回の一般選挙（令和4年11月）から適用されます。

この「舞鶴市議会议員定数条例の一部を改正する条例制定」に対する討論は、次のとおりです。



**賛成討論**

新政クラブ議員団

会派で約1年間をかけ積極的に意見交換し、最終的に2人減を取りまとめ、一貫して強く主張してきた。根拠は、①近隣・類似自治体と比較し、多い②市民の方々の意見交換会

で、現状維持と削減の意見が半分に分かれ、4年前と比較し、削減案が大きく伸びた事実を確認③舞鶴市の人口・市税収入減に伴い、議会も財政面で貢献すべき④削減後も議員一人一人の情熱を持ち、活動する決意である。その中で、委員長による両意見を加味した1人減案に対し、議会の合議を図る意味を尊重し、賛成する。

**反対討論**

日本共産党議員団

定数は現状維持すべきと主張してきた。1人減とすることは、本市の抱えるさまざまな課題に対して市民の声をすぐことにつながるものと考えられる。今回も2日間にわ

たり市民の方から、市政や議会に対する多様で貴重な意見を聞き、「議員が職責を果たし、良い方向に引っ張ってほしい」という意見が共通して出された。議員間の議論では現状維持が半数を超えていた。委員長の合意案で1人減が提案された。これに対しての十分な審議はされず、この間の議論は削減ありきの議論であったのかと思わざるを得ない。





令和3年12月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



### 全会一致で可決したその他の議案

- 和解について（市有自動車の交通事故）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市松尾寺駅前観光交流施設）
- 指定管理者の指定について（五老ヶ岳公園）
- 指定管理者の指定について（大波上集会所）
- 工事請負契約の変更について（次期最終処分場整備工事）
- 字の区域及び名称の変更について（西神崎地区及び東神崎地区）

### 全会一致で同意・可決した人事議案

- 公平委員会委員の選任について
- 農業委員会委員の任命について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

### 全会一致で可決した議会提出議案

- 舞鶴市議会における会派に対する政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について
- コロナ禍における米価下落対策を求める意見書
- 中華人民共和国による人権侵害問題に対する意見書

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	仲井玲子	議決をした日
新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	市民	市民	市民	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月23日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月23日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	12月23日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	11月25日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	11月25日

無党派…会派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

### 公平委員会委員の選任

公平委員会委員の任期満了に伴い、令和3年12月23日の本会議で次の委員を選任することに同意しました。

再任：足立清治氏

### 農業委員会委員の任命

農業委員会委員の辞任に伴い、令和3年12月23日の本会議で次の委員を任命することに同意しました。

新任：前田隆文氏

# 議案の採決結果

(令和3年12月定例会) 会期:11月25日~12月23日

## 全会一致で承認・可決した予算議案

- 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度一般会計補正予算(第7号))
- 令和3年度一般会計補正予算(第8号)
- 令和3年度一般会計補正予算(第9号)
- 令和3年度一般会計補正予算(第10号)
- 令和3年度一般会計補正予算(第11号)
- 令和3年度一般会計補正予算(第12号)
- 令和3年度国民健康保険事業会計補正予算(第2号)
- 令和3年度駐車場事業会計補正予算(第2号)



## 全会一致で可決した条例議案

- 会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 農業公園条例の一部を改正する条例制定について
- 東地区中心市街地複合施設条例の一部を改正する条例制定について
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

## 賛否が分かれた議案等

議案名	議員名等(会派内は五十音順)	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	今西克己	上野修身	鯛慶一
								新政	新政	新政
市長提出議案	舞鶴市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	都市公園条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	指定管理者の指定について(舞鶴赤れんがパークの一部)	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	監査委員の選任について	25	24	20	4	0	同	○	○	○
議会提出議案	舞鶴市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○

【会派】新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団、



午後3時から生放送!  
午後9時から、再放送を  
お聴きいただけます。



《今後の放送予定》

2月25日(金) 放送テーマ:「議員研修会の報告」など

### これまでの 主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「議場の中の様子などについて」
- 「FMまいづるとの意見交換会の報告」
- 「審議の見える化を図る取組」 など

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。  
定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなことをお話していますので、ぜひお聴きください。

次回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



FMまいづるに出演しています

令和3年12月7日～9日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

### 令和3年 舞鶴市議会12月定例会一般質問

令和3年12月7日、8日、9日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一括	杉島 久敏	1 マイナンバーカードの普及促進について	2 キャッシュレス決済について
			3 成年後見制度の利用促進について	
2	一括	鯛 慶一	1 脱炭素社会における舞鶴市の取組について	
			2 かんぼの宿跡地利用について	
3	3分割	鴨田 秋津	1 近未来のまちづくりビジョンについて	2 HPVワクチンの積極的勧奨について
			3 第49回衆議院議員総選挙の総括と今後について	
4	一問一答	小西 洋一	1 気候危機と自治体の役割について	2 在来線の充実について
			3 「明日も行きたい」と思える学校づくりについて	
5	2分割	高橋 秀策	1 中高年のひきこもり支援について	2 教育について
			3 山陰新幹線について	4 マイナンバーカードについて
			5 中保育所の在り方について	
6	一括	仲井 玲子	1 まちづくり戦略としての図書館について	2 舞鶴市の水道施設について
			3 新型コロナウイルスワクチン接種による重篤な副反応について	
7	一括	松田 弘幸	1 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内経済への消費喚起策について	
8	3分割	田畑 篤子	1 子育て支援について	2 障害者・高齢者支援について
			3 空地の有効利用について	
9	一括	西村 正之	1 自殺対策について	
			2 海軍ゆかりの港めぐり遊覧船について	
10	一問一答	伊田 悦子	1 子育てしやすいまちづくりについて	2 府立高校タブレット導入への保護者負担の軽減について
			3 ジェンダーギャップ解消に向けた取組について	
11	一括	谷川 真司	1 市の街路樹について	2 ボランティアポイントについて
			3 アダプトプログラムについて	
12	一括	水嶋 一明	1 高野川の治水対策について	
			2 災害時のきめ細かな情報発信について	
13	一括	田村 優樹	1 防災教育の課題について	2 学校施設の感染症対策について
			3 学校用機について	
14	2分割	小杉 悦子	1 21年産米の米価下落について	
			2 新型コロナウイルス感染症から市民の命、暮らしを守ることにについて	
15	一問一答	川口 孝文	1 国道27号「青葉改良事業」現地調査等について	
			2 市内小中学校の現状等について	
16	一問一答	野瀬 貴則	1 第3期環境基本計画について	
			2 環境意識の向上と行動について	
17	一問一答	肝付 隆治	1 京都舞鶴港の今後の港湾振興策について	
			2 主権者教育の今後の取組について	
18	一括	上野 修身	1 消防体制の充実・強化について	
			2 公共交通について	
19	一括	尾関 善之	1 舞鶴市地域公共交通について	
			2 高野川、静溪川、伊佐津川の整備状況について	
20	一括	今西 克己	1 加佐診療所について	2 有害鳥獣対策について
			3 鳥インフルエンザについて	

- ※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式  
 ※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式  
 ※3 分 割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式  
 ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

舞鶴市議会

検索



※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。  
 ※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

令和3年12月7日～9日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

一般質問

**Q** 成年後見制度の課題認識と取り組みは

**A** 関係団体との連携と家族での話し合い



公明党議員団  
杉島 久敏

**質問** 成年後見制度を必要な方が適切に利用できるよう、さらなる普及啓発を進められたい。また、成年後見制度利用者の増加に対応できるよう、弁護士や司法書士だけでなく、行政書士や社会保険労務士など多様な専門職や法人、市民後見人が担い手として活躍できるように家庭裁判所や各専門職団体との連携を強化すべきである。本市として現在、どのような課題認識を持ち、今後、取り組んでいくのかを問う。

**答弁** 成年後見人の担い手の確保については、関係団体との連携を深め、できるだけ多くの皆さまに協力いただき、専門職後見の充実を図っていく考えである。まずは、被後見人自身においても、財産管理や介護、医療の希望を市が作成した「まいづるの古い支度ノート」を活用し書き留めておくなど、日ごろから家族の中で親族後見についても話し合っておくことが重要と考えている。



成年後見支援センター発行のパンフレット

一般質問

**Q** 京都舞鶴港での脱炭素の取り組みは

**A** 京都府が今月から実証実験を実施



新政クラブ議員団  
網 慶一

**質問** 令和2年12月定例会で、FCフォークリフトの導入に関する一般質問を行った。京都府が事務局を務める物流拠点等燃料電池フォークリフト普及ワーキンググループで、京都舞鶴港へのFCフォークリフト導入の可能性が検討されているとの答弁であった。本年、同港で水素を燃料とするFCフォークリフトの実証実験が行われるとのことだが、その内容について問う。

**答弁** 今月から西港の港湾関連の事業所内で、移送式水素ステーションを活用し、効率的な水素供給モデルの構築を目的とした実証実験が実施される。水素エネルギーの活用は、コスト面の課題が大きいと言われていたが、移動式水素ステーションの活用により、一定のコストダウンが図れ、さまざまな車両等への水素燃料導入に向けた契機になり、港湾の脱炭素化に貢献するものと考えている。



利便性の高い移動式水素ステーション

一般質問

**Q** 国のHPVワクチン積極的勧奨を受けて

**A** 適切に接種が実施できる体制を図る



市民クラブ舞鶴議員団  
鴨田 秋津

**質問** 日本では毎年約1万1千人の女性が子宮頸がんになり、約2800人の命が失われている。第一次予防として期待されるのがHPVワクチンだが、国は8年ぶりにワクチン接種の積極的勧奨再開を決定したが、市はどう捉えるか。また男性や9価ワクチンへの公的助成を行う考えは。

**答弁** 今後、医師会などと調整を行い、適切に接種が実施できる体制整備を図る。男性への接種や、9価ワクチンに対する公的助成は、国の動向を注視しながら対応する。



誰でもかかる可能性のある病気

**質問** 本市は期日前投票の比率が高い傾向にある。10月の衆議院選挙では約半数の有権者が期日前投票を利用した。らぼーるは多くの方が利用する投票所。西地区の民間施設でも期日前投票ができれば投票率向上に資すると考えるが、市の見解は。

**答弁** これまで開設には至らなかったが、今後も投票される方の利便性向上のため、西地区の商業施設で期日前投票所を開設できるよう調査・検討する。

**Q** 選挙の投票率向上の策は

**A** 商業施設での投票所を開設

令和3年12月7日～9日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

### 一般質問



**Q** 気候危機打開へCO<sub>2</sub>削減・脱石炭を国・関西電力の動向を注視



**Q** 8050問題、ひきこもり支援は早期に支援できるような取り組み



**Q** 市民ニーズに合った図書館機能の充実を図書館を目指す



**質問** 英国で開催された「COP26」で、日本は2030年以降も石炭火力を使う姿勢を示し、世界から批判を浴びた。気候危機による災害の被害に遭うのは住民である。CO<sub>2</sub>削減目標の引き上げや石炭火力発電廃止に踏み出し、直ちに具体的な行動を始めるよう国に強く求めるべきと考え

**答弁** 国は第6次エネルギー基本計画で2030年に向け、再生可能エネルギーを主力



CO<sub>2</sub>排出量1,052万トン/年の舞鶴火力発電所

電源化し、最大限の導入を促すとしている。今後も国や関西電力の動向を注視し温室効果ガスの削減、脱炭素社会の実現を目指す。

**Q** 通学路整備の方策を問う

**A** 安全な通学路確保に努める

**質問** 子どもたちが犠牲になる悲しい事故が繰り返されている。事故を未然に防ぐために安全な通学路の確保、歩道整備のための予算の確保は政治の責任。市の方策を問う。

**答弁** これまでから「舞鶴市通学路安全推進会議」を設置し取り組みを行っている。多くの「目」で子どもたちを見守り、安全な通学路の確保に努める。



方向性を問われる市立中保育所

**質問** 40代から5代目のひきこもりが問題視される理由は、経済的困窮と精神的な健康問題である。この世代は就職も難しいと言われる。中高年のひきこもりについて、取り組んでいる支援や今後の方向性の見解を問う。

**答弁** ひきこもりの方ご本人には社会的自立を目指す意欲喚起を行い、就労に向けた支援を進めている。家族の方には包括的な寄り添い型支援を実施して

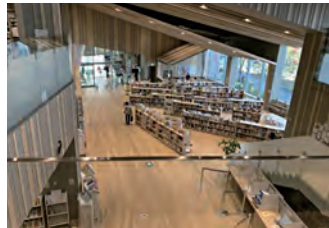
**Q** 中保育所の今後は

**A** 中舞鶴幼稚園との連携も

**質問** 老朽化が進んでいる中保育所の在り方について、「幼保未

来推進部会」が開催され、新しいこども園についても協議された。現在の進捗状況と今後の方向性を問う。

**答弁** 市と中舞鶴幼稚園が協定を結び連携することで、公的機能や保育の質を担保することが可能になることを示した。今年度内に方向性を決定したい。



機能が充実した滋賀県守山市立図書館

**質問** 本市の86%の市民があまり図書館を利用していない中、本を貸すだけではなく、人づくり・まちづくりの拠点として市民ニーズに合った、市民の居場所づくりとして、新たな機能の充実が必要ではないか、市の見解を問う。

**答弁** 市民交流の場としての空間づくりも重要と考え、図書館運営への市民参加を推進する。今後、ボランティアグループや市民団体へのヒアリングを

**Q** 本市水道施設の管理状況は

**A** 施設の更新や点検を進める

**質問** 高度成長期に整備された公共施設が更新時期を迎える中、本市の水道管の点検状況と、破損した場合の対応を問う。

**答弁** 安全を確認しながら管路の延命化を図り、更新や点検を鋭意実施し、万全な施設管理に努めている。仮に重要管路が破損した場合は、各地区の配水池に貯留しており、断水までには一定の時間的余裕があるため、この間に復旧を目指す。

実施し、図書館協議会で市民ニーズなどの結果を分析して、計画を取りまとめた。

令和3年12月7日～9日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問



舞鶴のさかな満喫  
クーポン取扱店マーク

**質問** コロナ対策としての飲食店支援は、クーポンを使わず、店舗を利用された際に、一人500円引きとするサービスも有効ではないか。100人分であれば5万円を支援するなど、予定人数が終了するまで実施するか、1日の人数を限定し、期間を決めて行うかを検討していただいた上で、利用者は会計時に住所・氏名を記載し、その場で料金から引いていただくといった支援方法も考えられる。

**答弁** 現在、コロナ感染症が落ち着いていくが、基本的な感染防止対策を徹底しながら社会経済活動の回復に向けた取り組みを進めることが重要と考える。今後、国や京都府の消費喚起策や各種支援策の動向を注視しながら、状況に応じた経済対策を行い、市内経済の回復に努める。

**Q** 今後の消費喚起策と事業者支援を問う

**A** 状況に応じた経済対策を行う



公明党議員団  
松田 弘 幸



子どもの居場所づくり事業  
「子ども食堂」

**質問** 京都府には「きょうと子ども食堂開設・運営支援事業」がある。本市では「子ども食堂」の認知度も低く、開設予定場所の周辺住民の理解が得にくい状況である。社会貢献として、進んで取り組もうとする市民にとって、準備段階での労力と心労がある。子ども食堂を始めたい人が、安心して取り組めるよう支援をすべきだが、市の考えは。

**答弁** 国や府では、各種補助制度が整備されておられ、それらの情報提供を行うとともに、市民へは、子どもの居場所づくりが求められている背景や意義を周知し、子どもの居場所づくりに取り組もうとする方々に対しての相談支援に努める。

**Q** 子どもの居場所づくりへの支援は

**A** 子ども食堂等始める方へ相談支援に努力



新政クラブ議員団  
田畑 篤 子

**質問** 子ども食堂への食材の安定供給のため、地域を巻き込んだ子育てと高齢者支援の多世代交流としての連携事業を提案するが、市の見解は。

**答弁** 地域共生・互助の良い取り組みの一つとなる。事業の実施・運営に係る相談などの支援に努める。

**Q** 地域活性化事業との連携は

**A** 事業の実施・運営を支援

**質問** 平成18年に自殺対策基本法が制定され、「国民が健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現」が、社会全体の目標であることが示された。自殺対策は個人の問題ではなく、社会の問題ではなく、社会的な取り組みとして実施されるべきである。総合的な取り組み、各段階、個々のケースに応じた対策の必要性および関係団体や関係機関の連携という方向性が明示された。学校における自殺対策の取り組みを問う。

**答弁** 学校では、日頃から少しの変化も見逃さないよう、児童生徒の理解に努めている。学期に一度は「教育相談月間」を設け、全ての児童生徒と担任が1対1で話をするにことにより、いじめについてだけでなく、児童生徒の抱える心の悩みや家庭での様子なども把握するようになっている。必要に応じて、児童生徒や保護者が悩みを打ち明けることができるよう、命を大切にすることを育む教育活動を進めていく。

**Q** 自殺対策の取り組みを問う

**A** 命を大切にす教育活動を推進



市民クラブ舞鶴議員団  
西村 正 之



舞鶴市自殺対策計画

一般質問

令和3年12月7日～9日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



老朽化が進む市立中保育所

**Q** 中保育所は公立保育園として存続を  
**A** 中長期的視点で  
適切な在り方を検討



日本共産党議員団  
伊田悦子

**質問** ①以前、求め  
ていた公立保育所での  
主食提供の実施は。②  
現在の公立保育所、認  
定こども園の正職員数  
は48人で、正職員でな  
い職員は94人。保育士  
不足の解消につなげる  
ためにも、正職員の増  
員が必要ではないか。  
③施設の老朽化、少子  
化等の理由で、中保育  
所の在り方が議論され  
ている。この間、公立  
保育所として重度の障  
害児も積極的に受け入  
れ、市全域の保育ニー  
ズに应运えてきた。建て  
替えも含め検討し、公  
立保育園として存続す  
べきではないか。

**答弁** ①令和4年4  
月から実施する。②処  
遇改善のほか、就業促  
進に向け、さまざまな  
施策を講じている。③  
公立園が担う役割も十  
分勘案の上、幼保未来  
推進部会で議論を重ね、  
中長期的な視点に立つ  
て、中保育所の最適な  
在り方を検討する。

**Q** ジェンダーレスの  
制服を  
**A** 学校と連携して  
取り組む

**質問** ジェンダーレ  
ス制服への変更は学  
校任せでなく、教育  
委員会としての調整  
は。

**答弁** 学校と連携  
し、多様性への配慮  
が進むよう取り組む。

**Q** 街路樹を市民と守る  
システムを  
**A** 市民との協働を  
検討する



創政クラブ議員団  
谷川真司

**質問** 本市の財政を  
考えると、行政だけで  
街路樹の管理を続ける  
ことには無理があり、  
住民の参加意識を高揚  
し、地域の環境財産と  
して、市民の意識改革  
に結びつける取り組み  
が必要であると考え  
て、市民とともに  
にまちを整備する、市  
民とともに緑のまちづ  
くりを行う方向に向か  
うことが、SDGsに  
かなったまちづ  
くりではないか  
と考える。

どを与える一方で、管  
理を怠ると歩行者や自  
転車などの通行の妨げ  
となる。このため、落  
葉の回収や除草、手の  
届く範囲での枝葉の剪  
定など、身近な作業は、  
市民の皆さまとの協働  
による実施を検討する  
ほか、街路樹の配置も、  
沿線の方々のご意見を  
伺いながら間隔の見直  
しを行い、日常管理の  
負担軽減を図っていく。

**質問** ジェンダーレ  
ス制服への変更は学  
校任せでなく、教育  
委員会としての調整  
は。

**答弁** 街路樹  
はまちに彩りな



薬（ひこばえ）が伸びた街路樹

**Q** 高野川浸水対策  
工事の進捗状況は  
**A** 護岸工事や用地取得が  
計画どおり進捗



新政クラブ議員団  
水嶋一明

**質問** 京都府におい  
て進められている河床  
掘削工事や河川の拡幅  
に必要な用地取得の現  
在までの進捗状況等を  
問う。また、本市の内  
水対策工事で、大手ポ  
ンプ場の土木工事の完  
成後、京都府が実施し  
ている護岸工事と連  
携・調整をしながら機  
械・電気設備を設置す  
ることになる。その進  
捗状況等および第II期  
工事計画に先行して実  
施している逆流防止施  
設等の整備状況を問う。

も、面積比で98%の契  
約が完了。静浜ポンプ  
場などは令和5年度に  
完了予定であり、寺内  
ポンプ場と水路整備は、  
令和5年度以降の完成  
見込みである。また、  
大手ポンプ場の稼働に  
伴う護岸補強工事は、  
来年後半の完成予定で  
ある。II期区間にもフ  
ラップゲートを11カ所  
に設置した。

**答弁** 河口から国道  
175号までの河床掘  
削工事、国道175号  
から新大橋までの東側  
護岸のうち225mお  
よび大手ポンプ場附近  
の45mの区間で護岸工  
事が実施されている。  
拡幅に必要な用地取得

拡幅に必要な用地取得



大手ポンプ場の土木工事が完了



令和3年12月7日～9日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

**Q** 防災教育の課題  
取り組みを問う

**A** 「主体的に行動する  
態度」を育成



市民クラブ舞鶴議員団  
田村 優樹

**質問** 学校における防災教育では、風水害や大震災の発生に備えるだけでなく、短時間豪雨、海面上昇などの自然現象、高齢化の進展、都市構造の変化など、社会環境の変化に伴う新たな防災上の課題が発生している。子どもたちが、災害上の課題を正しく認識し、自律的に考える力を育み、予期せぬ事態にも的確な対応ができる。そうした能力を身に付けておくことは、防災教育の充実を図る上で、実に有効であると考ええる。本市の認識と取り組みを問う。

**答弁** 避難訓練中およびその前後の学級指導でも、災害から身を守る安全な行動や規律ある集団行動ができるよう繰り返し指導を行い、休み時間や登下校中など大人がそばにいない状況下でも、自ら身を守る行動ができるよう「主体的に行動する」訓練を行っている。家庭や地域の防災組織と連携した学習や活動の機会を積極的に取り入れ、将来の防災教育の担い手の育成にもつなげたいと考える。



命を守る防災教育

**Q** 米価暴落による  
農家への支援策は

**A** 国・府の制度を  
活用して支援する



日本共産党議員団  
小杉 悦子

**質問** 今年の秋は米価の暴落が、稲作農家の顔を曇らせている。「JA京都にのくに」ではどの品種、等級でも昨年に比べ30キロ当たり1500円の価格暴落である。本市独自の支援策が必要と考えるが、いかがか。

**答弁** 国の「収入減少影響緩和交付金」、「水田活用の直接支払金」などや、京都府の事業を活用しながら生産者の支援に努める。士や介護士の処遇改善も現場感覚とは離れており、期待外れの声がある。全ての事業者、市民が対象となる消費税減税や現場の声を反映したコロナ対策を国に働きかけるべきと考えるが、いかがか。



安定した米作りを

**Q** 児童生徒の自転車  
保険の確認が必要では

**A** 今後は保険加入  
確認に努める



創政クラブ議員団  
川口 孝文

**質問** 今年11月、大阪府枚方市において、中学3年生の男子生徒の自転車と高齢男性が衝突する事故が発生した。平成25年には、11歳の小学生の自転車と歩行中の女性との衝突事故で、損害賠償等9千万円余りの判決が出されている。

**答弁** 本市では、多くの児童生徒が自転車通学であり、ちょっとした過失から加害者となってしまう可能性がある。自転車通学の児童生徒の自転車保険加入状況を把握しておく必要があると考え、現状を問う。

車保険加入義務化を受け、毎年、入学時に保護者へパンフレットを配布し、保険加入の啓発を行っている。学校では、保険加入義務化初年度は、全児童生徒の加入・未加入の確認を行ったが、その後の確認は行っていない。このたびの事故を受け、今後、各校において自転車保険の加入・未加入の確認を行うよう努める。



自転車事故は身近に

**質問** 「コロナで困りの皆さまへ給付金をお届けする」との首相の公約は多くの人が対象から外され、保育

**答弁** 平成30年度の自転

一般質問

令和3年12月7日～9日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

**Q** 太陽光発電の普及と公共施設への導入は「舞鶴版RE100」を  
**A** 「舞鶴版RE100」を目指す



新政クラブ議員団  
野瀬 貴則

**質問** 2030年までの環境に係る目標等を定めた第3期環境基本計画が6月に策定された。本計画では太陽光パネルや蓄電池の設置を推進とあるが、本市は平地が少なく、傾斜地への設置は推奨すべきではない。設置場所等普及をどう考えるか。公共施設の電気に再生可能エネルギーを導入すべきだと考えるが、市の見解を問う。

**答弁** 農地でのソーラーシェアリングやPPAモデルでの無償設置による普及促進を



個人情報に配慮した回収方法の検討を

**Q** シベリア鉄道複合一貫輸送への参入を  
**A** 国際フェリーの利点を生かし振興・発展へ



創政クラブ議員団  
肝付 隆治

**質問** コロナ禍で空輸便料金が高騰し、海上輸送と鉄道輸送を組み合わせたシベリア鉄道複合一貫輸送が第3の輸送手段として注目されている。舞鶴では国際ふ頭の第II期整備が始まり10年後には現在の約2倍の機能となる。京都舞鶴港が、関西経済圏の日本海側ゲートウェイとしての存在感を増すための新たな取り組みとして、富山港が定期航路として始めているシベリア鉄道複合一貫輸送への参入を検討すべきではないか。

**答弁** 既に一部の機械メーカーにおいて、京都舞鶴港からウラジオストクまで日韓露



国際ふ頭第II期工事完成予想図

**Q** 西消防署・中出張所の建て替え予定は  
**A** 統合し、本部2署体制を検討している



新政クラブ議員団  
上野 修身

**質問** 防災・消防は、住民の生命・財産を守るという根源的な行政サービスである以上、人的・財政的な制約が厳しくとも、必要な消防力確保は不可欠であることから、人員・車両・資機材など限られた消防の資源を最大限に有効活用し、多様な災害への対応が求められる。

**答弁** 時代即した体制への見直しも必要であり、持続可能な消防体制整備のため、人員・機械器具の配置を見直すなど、組織の再編と併せた新たな拠点として、中出張所機能を統合した西消防署を整備し、本部2署体制を検討している。



大型車両対応が求められる東消防署中出張所

**質問** 本市の可燃ごみの約4割が紙ごみである。その中には個人情報保護のため、シュレッダー処理し可燃ごみで処分されているものがある。紙資源の再生利用の積極的な推進が必要だが、どのように取り組むのか。

**答弁** 本年4月に、紙ごみの資源化を「一般廃棄物処理基本計画」の重点項目に位置付けており、今後も減量等の啓発に努める。

**質問** 2030年までの環境に係る目標等を定めた第3期環境基本計画が6月に策定された。本計画では太陽光パネルや蓄電池の設置を推進とあるが、本市は平地が少なく、傾斜地への設置は推奨すべきではない。設置場所等普及をどう考えるか。公共施設の電気に再生可能エネルギーを導入すべきだと考えるが、市の見解を問う。

**答弁** 農地でのソーラーシェアリングやPPAモデルでの無償設置による普及促進を

**質問** 既に一部の機械メーカーにおいて、京都舞鶴港からウラジオストクまで日韓露

**答弁** 既に一部の機械メーカーにおいて、京都舞鶴港からウラジオストクまで日韓露

**質問** 防災・消防は、住民の生命・財産を守るという根源的な行政サービスである以上、人的・財政的な制約が厳しくとも、必要な消防力確保は不可欠であることから、人員・車両・資機材など限られた消防の資源を最大限に有効活用し、多様な災害への対応が求められる。

**答弁** 時代即した体制への見直しも必要であり、持続可能な消防体制整備のため、人員・機械器具の配置を見直すなど、組織の再編と併せた新たな拠点として、中出張所機能を統合した西消防署を整備し、本部2署体制を検討している。

※1 ソーラーシェアリング…農地に支柱を立て、上部に設置した太陽光パネルで日射量を調節し、農業生産と発電で共有する取り組み  
※2 PPAモデル…「Power Purchase Agreementモデル」の略称。電力事業者と需要家の間で結ぶ「電力販売契約」のこと

令和3年12月7日～9日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は次のとおりです。 **一般質問**

**3月定例会の予定・議会傍聴**

**答弁** 大手ポンプ場は、当初、令和4年の出水期までの完成を予定していたが、大手ポンプ場をフル稼働した場合、高野川の既存護岸などを損傷させることが想定された。その対策のため、



整備が進む高野川

**質問** 大手ポンプ場は、9月に土木工事等が完了し、引き続き建築、機械、電気設備工事等を進めてもらっている。また、その排水口付近の、護岸の強度を増すための工事を、現在、京都府において進められているところだが、大手ポンプ場のほか、寺内、松陰、竹屋ポンプ場の進捗状況について問う。

**答弁** 補強工事を追加されたことにより、令和4年後半の完成となる予定である。また、静溪ポンプ場は、5月に土木工事を発注し、今年度末には機械設備工事を発注する計画であり、現在その準備を進めている。竹屋ポンプ場、松陰ポンプ場も、設備の発注などに向け、それぞれ準備を進めている。

**Q** 西市街地河川整備の進捗状況を問う

**A** 京都府と連携し治水対策事業を進める

創政クラブ議員団 尾関善之



地域医療を担う加佐診療所

**質問** 由良川沿川の大江町は、加佐地区と生活圏域を同じくする地域である。在宅医療を見据え、舞鶴市と福知山市という異なる自治体間での新たな医療のネットワークの構築と、この地域での医師同士の連携が必要不可欠と考える。大江分院との医療連携を問う。

**答弁** 大江分院は、在宅医療の強化や総合診療医の養成に積極的に取り組んでおられる。時間外の対応や入院の対策を問う。

**質問** ツキノワグマの生息数が増えており、京都府のレッドリストで絶滅寸前種から「要注目種」に変更された。府内でも人身被害が報告されている。本市の対策を問う。

**答弁** 京都府では「第二種特定鳥獣管理計画」へ変更された。市民生活が脅かされる場合は危険個体の駆除を行うなど、人身被害が発生することのないよう取り組んでいく。

**Q** 加佐診療所と大江分院との連携を問う

**A** 医療連携を深めていく

新政クラブ議員団 今西克己

**3月定例会予定**

**2月**

24日(木) 本会議(開会)

**3月**

- 3日(木) 請願受理締切
- 8日(火) 本会議(代表質問)
- 9日(水) 本会議(一般質問)
- 10日(木) 本会議(一般質問、議案質疑)
- 14日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 15日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 16日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 17日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 23日(水) 予算決算委員会
- 28日(月) 本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。

**議会を傍聴してみませんか**

**本会議や委員会等はどこでも傍聴することができます。**

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

**手話通訳者・要約筆記者を配置できます**

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはメール、FAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、配置できない場合もありますので、ご了承の上、お早目にご相談ください。



詳しくはホームページをご覧ください



市長に対して、政策提言を行いました。  
議会のさらなる「見える化」を図るために、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を運用していくこととしました。

**政策提言**  
**舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル**  
**編集後記**

## 市長へ政策提言

4つの常任委員会では、1年間（毎年12月から翌年の11月まで）の活動計画に重点事項を定め、市の取り組み状況の確認、先進事例の調査、市民の皆さまとの意見交換などを通じて、現状把握と課題への対応策の検討を行っています。

その活動の成果として、令和3年11月に、市長へ政策提言を行いました。



### 総務消防委員会 (委員長：上野修身)

#### テーマ 地域防災力の向上

- ① 自主防災組織未結成地域への積極的かつ計画的なアプローチ
- ② 国立舞鶴工業高等専門学校との連携
- ③ 自主防災組織に対する運営面・資金面の支援の充実

### 産業建設委員会 (委員長：尾関善之)

#### テーマ コロナ禍における市内産業の現状と改善策

- ① 即効性のある地域消費の喚起策
- ② 将来に向けた需要喚起
- ③ 地域内の経済循環と拡大施策

### 福祉健康委員会 (委員長：杉島久敏)

#### テーマ フレイル予防

- ① 高齢者の多様な社会参加の機会を創出
- ② 活動場所の確保協力
- ③ オンラインによる団体同士の交流の場を創出

### 市民文教委員会 (委員長：鯛慶一)

#### テーマ 夢に向かって将来を切り拓く子どもを育成するための環境づくり

- ① 複雑化する子育て環境に対応するための総合的な人材の確保策
- ② 小中学校と地域との連携事業を担う人材の確保策

## 舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル

これまで、本会議や委員会の映像配信の方法としてYouTubeを活用してきましたが、議会のさらなる「見える化」を図るために、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」として運用していくこととしました。

定例会の概要報告や委員会の活動報告などのほか、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していきますので、是非ご覧ください。



#### 【議会報編集部会】

会長 眞下 隆史 委員 川口 孝文  
 副会長 杉島 久敏 委員 田村 優樹  
 委員 伊田 悦子 委員 野瀬 貴則

(部会長 眞下 隆史)

今後とも「まいづる市議会だより」を引き続き、ご愛読いただきますようよろしくお願い申し上げます。

是非とも「舞鶴市議会」を深く知っていただき、行政・議会・市民の強固な協力体制のもと、魅力ある「舞鶴市」の発展に貢献できるよう、「頑張ってまいります」。

「是非とも「舞鶴市議会」を深く知っていただき、行政・議会・市民の強固な協力体制のもと、魅力ある「舞鶴市」の発展に貢献できるよう、「頑張ってまいります」。

「是非とも「舞鶴市議会」を深く知っていただき、行政・議会・市民の強固な協力体制のもと、魅力ある「舞鶴市」の発展に貢献できるよう、「頑張ってまいります」。

「まいづる市議会だより」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

### 編集後記